NIE実践報告

1．タイトル：高校におけるＮＩＥ実戦の試み

２．学校名

札幌静修高等学校

３．実践者名（代表者名）

岡部　泰子

４．学年

全学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

現代文・国語講座・ＬＨＲなど、２７０名程度

６．単元（本時の学習課題）名

修学旅行事前学習（普通・国際科２年）、小論文作成（国語講座特進１年）、スクラップ作成（特進２年）等

７．目標(狙い)

新聞記事の授業における活用を恒常的・日常的に行うことで、論理的文章を読み情報を的確に自らの生活に取り入れることの可能性を探る

８．評価の視点

新聞記事を自分達に身近なものとして捉え、その情報を基礎的知識として身につけ活用することができるかどうか

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

修学旅行前の事前学習（３時間）、国語講座（３時間）、冬休み課題

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

１．修学旅行事前学習（普通科・国際科２年）
・見学先の新聞記事を取り入れたワークシートへの記入（普通科ＬＨＲ・１時間）
・見学先に持参する日本の新聞記事の英訳（国際科事前学習・３時間）
２．新聞記事の内容から考察された小論文の作成（普通科特進１年・６時間）
３．冬休みを利用した新聞記事スクラップ（普通科特進２年・長期休暇課題）
４．朝のＨＲ時を活用した新聞記事（教員が任意で抽出したもの）の配布（１２月～３月、毎日配布）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒の中にはこれまで新聞をきちんと読んでいなかった者も多く、新聞にどのような面があり、どのような情報が載っているかということを、より自分達に身近なものとして理解するようになった。

12．成果と課題

１．見学先の知識を身につけることができ、見学地でその知識を実際に体験することが出来た。
２．海外修学旅行でホストファミリーに日本の現在の姿をよりよく知ってもらうことが出来た。
３・新聞を読み、図書館資料を活用して小論文を作る過程で自分の意見をまとめることが出来た。
４．新聞記事を長期的・意識的に読むことで社会情勢を詳しく知ることが出来、社会に対する意識を高めることが出来た。
５．毎日恒常的に新聞と触れ合うことで、新聞の構成や記事それぞれの特性について詳しくなった。